



月の光はどうやって地球にくるの

月は自分自身で光っていない

月は地球の周りを回っている衛星で、大きさはほぼ地球の4分の1です。月は自分で光ることはできず、太陽の光を反しゃして光っています。

月が満月だったり、三日月だったりするのは、太陽に照らされている月を、地球のわたしたちから見ると、太陽に照らされている所だけが見えるためです。

月の光は、約1.3秒で地球へ

太陽の光を反しゃして、月の光は地球にとどきます。月と地球の距離は約38万キロメートルで、その間のほとんどは空気のない真空です。光は、空気中やガラス、水の中などを伝わるのですが、真空中が最も速く、秒速29万9793キロメートルの速さで進みます。月の光が地球にとどく時間は、約1.3秒です。(監修 国司 真)

